

Ⅱ. 第8回太平洋・島サミットの概要

1. 会議概要

平成30年5月18日（金）と19日（土）の2日間、第8回太平洋・島サミット（The 8th Pacific Islanders Leaders Meeting、PALM8）が福島県いわき市で開催され、日本及び島嶼14カ国、ニュージーランド、オーストラリアに加え、新規参加のニューカレドニア・仏領ポリネシアの2地域を含む19の国と地域の首脳等が参加した。

いわき市のスパリゾート・ハワイアンズでは、政府主催の首脳会議や二国間会談、安倍総理夫妻主催の晩餐会が行われた。また、地元自治体として、福島県やいわき市も歓迎行事や地元プログラムなどを通じてサミットの成功を支援した。

首脳会議では安倍総理とトゥイラエパ・サモア首相による共同議長の下で活発な議論が行われ、「「繁栄し自由で開かれた太平洋に向けたパートナーシップ」をキャッチフレーズに、①法の支配に基づく海洋秩序、持続可能な海洋、②強靱かつ持続可能な発展、③人的往来・交流の活性化、④国際場裡における協力の4つの議題を中心に議論を行い、議論の成果として、「PALM8 首脳宣言」を採択した。

安倍総理は、「自由で開かれたインド太平洋戦略」を踏まえ、自由で開かれた持続可能な海洋をPALM8の最も重要な議題として議論し、海における法の支配の重要性に関する認識を共有するとともに海上法執行を含む海上保安分野の能力構築支援や港湾整備等の分野での協力を推進していくことで一致した。

また、太平洋島嶼国の自立的発展を促すための協力として、これまでの実績を踏まえ、従来同様のしつかりとした開発協力を継続するとのコミットメントを表明し、今後3年間で5,000人以上の人材育成・人的交流の実施を約束した。

さらに、地元自治体である福島県及びいわき市との関係では、首脳たちから、おもてなしに対する謝意が表明され、東日本大震災からの復興の着実な進展に対する歓迎の意が示された。



発言する安倍総理大臣